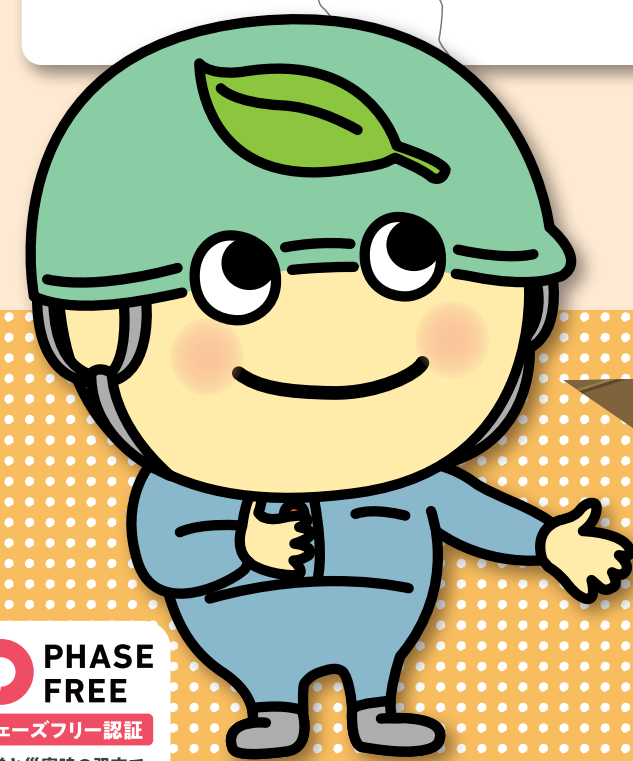


あたしたちの防災力

和田堀公園



都立公園の多くは、発災時には避難場所や、救出・救助部隊のヘリコプターが離発着する広域防災拠点としての役割を果たします。

その中でも、区部・多摩地域において大きな被害が想定される地域に近接し、自衛隊をはじめとする救出・救助部隊のヘリポートやベースキャンプなどの活動スペースの確保が可能な都立公園が「大規模救出・救助活動拠点候補地」に指定されています。

これらの公園は、発災時に自衛隊、消防、警察等の広域支援・救助部隊が、被災者の救出及び救助活動を行う拠点として活用できるよう整備されています。

（公財）東京都公園協会、東京都や地元区市等と連携し、これら防災上重要な役割をもつ公園の機能を十分発揮できるように、ほかから防災対応力の向上に取り組み続けています。



公益財団法人東京都公園協会



日常と災害時の双方で
役立つ公園として評価
されています。

和田薬公園の防災施設マップ



わたしたちの防災力 発行日：令和7年3月 善福寺川緑地・和田堀公園サービスセンター 〒166-0016 東京都杉並区成田西1-30-27 ☎03-3313-4247
発行：公益財団法人 東京都公園協会 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-44-1 東京都健康プラザハイジア9・10F ☎03-3232-3171



**ヘリコプター離発着の可能性がある
広場（大規模救出・救助活動地点）**

災害時には、ヘリコプターの離発着場所として
使用される可能性のある広場です。



 **かまどベンチ**
普段はベンチですが、災害時には座る部分を外して、「かまど」として炊き出しなどに用いることができます。



● マンホール型災害用トイレ



 災害用トイレ（常設）

地下に便槽を持ち、災害時に給水や排水などのインフラが寸断された場合でも利用できるトイレです。災害時には、マンホールの蓋を開けて使用します。



防災井戸ポンプ

ライフラインが絶たれた時に、トイレ用水や生活雑用水を確保できます(飲料水としては使用できません)。



災害救援自動販売機
災害時、一定の条件が揃った時に飲料を無償提供する機能が備わった自動販売機です。



広域避難場を表示灯



● 防災用照明灯(ソーラー照明灯)



給水活動スパーズ（応急給水槽）
水道が被害を受けた場合に、応急給水活動を行うための施設です。



防火水槽
地中に埋められた水槽で、消防隊や消防団、地域の防災市民組織などが、消防水利として活用します。



緊急車出入口



AED



公眾電話



 文部科学省

ワンホール型災害用トイレ		災害用トイレ (常設)		かまど ベンチ 基	災害救援 自動車救急機	AED
箇所数	穴数	箇所	穴数		箇所数	台数
4	103	3	3	17	4	1



東京都公園協会ホームページ「防災公園を知ろう」
URL : <https://www.tokyo-park.or.jp/special/bousai/>

和田堀公園・善福寺川緑地の 防災上の取り組み

災害時や緊急時に備え、防災対応力の強化と普及啓発に取り組み、安全・安心な公園づくりを進めています。

大規模救出・救助活動拠点の確保

和田堀公園には、自衛隊などのヘリコプターの離発着場所やベースキャンプとなる大規模救出・救助活動の拠点の確保という大きな役割が有ります。

大規模救出・救助活動拠点には、第一競技場が指定されているほか、第二競技場（済美山運動場）も緊急ヘリポートとしての利用が想定されており、関係機関と連携を進めるとともに訓練を行っています。



ヘリコプター離発着の様子
(水元公園での訓練写真)



平成 24 年度に実施された杉並区総合震災訓練の様子
(和田堀公園)

避難場所としての取り組み・地域との連携関係の構築

発災時の延焼火災などから身を守る避難場所としての機能を発揮するため、公園近隣の住民の皆さまや地元消防署等との訓練を実施し地域との連携強化を図っています。



近隣福祉施設との合同避難訓練（和田堀公園）



近隣町会との防災訓練（善福寺川緑地）



トピックス

親子で体験！「防災体験会」を開催

和田堀公園では、親子で参加できる「防災体験会」を実施。かまどベンチを使った火起こしや、災害用トイレなどの防災施設をスタンプラリーをしながら楽しく学び、体験していただきました。



防災意識の普及

イベントや防災訓練において、防災関連プログラムを実施し、来園者の方の防災意識の普及啓発を図っています。楽しみながら、防災を学んでいただけるよう、様々な工夫をしています。



アルミホイルやティッシュペーパーなど、身近な材料で作る防災ランプ作りのワークショップ（和田堀公園）



子どもたちにもAEDを体験してもらいました（和田堀公園）

防災イベントで「かまどベンチ」を説明（善福寺川緑地）



震災に備えた職員の対応力向上の取り組み

発災に備え、防災無線使用訓練や AED 訓練のほか、様々な時間帯（早朝、日中、夜間）を想定した職員の震災対応訓練を実施しています。



職員対象のAED訓練



日没後のマンホール型災害用トイレテント組立訓練



(完成)



災害対策備品

防災保管庫にとりまとめサービスセンターに備え付けています。

防災士などの有資格者の配置

災害時の安全確保に向けて、防災士の計画的な配置をはじめとして、職員の救命救急講習やAED取扱い講習の推進を図っています。



職員による防災公園についての説明
防災士のほか、応急手当普及員、上級救命救命技能認定者も在籍しています。



知っていますか？ 「自助」「共助」「公助」

「自助」：災害時、自分自身や家族の身を守ること
「共助」：地域の人々など、人と人々が共に助け合い、救護活動等を行うこと

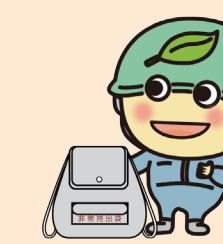
「公助」：自治体や、警察・消防・自衛隊などの公的機関が災害支援活動を行うこと

ぼく、ともすけ。
ぼくの名前は、
共助からきているんだよ



防災施設の定期点検

いざという時に、公園にある様々な防災施設（設備）の機能を十分に発揮できるよう、定期的な園内の防災施設（設備）点検を実施しています。



かまどベンチの点検
(善福寺川緑地)



防災井戸ポンプの点検
(和田堀公園)

防災関連パンフレットの配布

園内の防災関連施設の紹介や情報発信を目的として、公園ごとの「わたしたちの防災力」を配布しています。また、防災意識啓発の一環として、「防災公園ハンドブック」を作成しています。

